

平成 28 年度 第 3 回長野市総合計画審議会 会議録

日 時：平成 28 年 10 月 26 日（水） 午後 2 時から

場 所：庁議室（第一庁舎 5 階）

出席者：委 員/ 三浦会長、園原副会長、池田委員、上野委員、金井委員、川北委員、白石委員、滝沢委員、藤森委員、堀江委員、本間委員、山浦委員、山口委員
長野市/ 小川総務部長、増田企画政策部長、平野財政部長、竹内市民生活部長、田中保健福祉部長、上杉こども未来部長、井上環境部長、久保田商工観光部長、倉石文化スポーツ振興部長、西島農林部長、上平建設部長、轟都市整備部長、島田駅周辺整備部長、松本教育次長（行政）、熊谷教育次長（教育）、戸谷上下水道局長、瀧澤消防局長、西澤危機管理防災監
事務局/（企画課） 倉島課長、花立主幹、小川係長、轟係長、佐久間係長、竹内主査、宮坂主査、奥田主査、白澤主事
（人口増推進課） 川上補佐、関谷係長

1 開会

（事務局）

定刻になりましたので、これから長野市総合計画審議会を開会いたします。

進行を務めます企画課の花立と申します。よろしく願いいたします。

本日の資料は、事前にお送りいたしました、次第と別紙資料と資料集とアンケート調査結果（速報）となります。ご確認をお願いします。

また、本日は有澤委員、碓井委員、塚原委員、寺内委員、増山委員、柳沢委員からご欠席のご連絡をいただいておりますのでご報告いたします。それでは三浦会長からあいさつを申し上げます。

会長、お願いします。

2 会長あいさつ

（三浦会長）

皆さんこんにちは。資料が分厚くなってきまして、いよいよまとめの段階に入ってきたかと痛感しております。今日と次回の審議会でのこの計画案をまとめるということですので、よろしく願いします。天候が不安定で体調管理も大変かと思いますが、計画の策定に向けてよろしく願いいたします。

3 議事

(事務局)

ありがとうございました。それでは、審議に移らせていただきますが、議長につきましては、三浦会長にお願いします。なお、審議時間ですが事務局としましては午後4時までにはと思っています。よろしくお願いいたします。

(三浦会長)

それでは、議事に入ります。

議事の(1)の第五次総合計画前期基本計画(案)についてですが、①分野別計画②統計指標③用語解説の3つをまとめて事務局から説明していただきたいと思います。

(事務局)

企画課の倉島でございます。それでは、議事の①分野別計画、②統計指標、③用語解説についてご説明いたします。

— 資料に基づき説明 —

101ページの財政推計に関しては初めて掲載しているものでございますので、財政課長からご説明いただきたいと思います。

(望月課長)

財政課長の望月です。本日財政部長が出席できませんでしたので、代わりにご説明いたします。

— 資料に基づき説明 —

私からの説明は以上です。

(事務局)

財政推計の部分の用語解説はこれから形にしていきたいと思います。引き続き説明いたします。

— 資料に基づき説明 —

基本計画の①から③の説明は以上です。

(三浦会長)

ありがとうございました。重点テーマの並び替えについてや、統計指標のところはまだわかりにくいところがあるかと思いました。もう一回審議会があるということなので、内容的には修正できる部分もあるようですが、重点テーマについては予算との絡みもあるので、今回の審議会でフィックスしていきたいと思います。そのことも踏まえて、ご意見等ありましたらお願いいたします。

(白石委員)

重点テーマについては市民の注目度も高いと思います。その中で、どうやってこの重点テーマを実現していくのか、という推進体制を 27 ページに載せられないかと思います。また、28 ページの「地域ブランド調査結果」には順位が載っていますがよくわからないので、注釈を付けてほしいと思いました。

(事務局)

推進体制につきましては、今回 103 ページに「計画の推進体制」ということで、重点推進テーマに限ってではありませんが記載があります。今回、総合計画推進本部を設置いたしましたので、そこでも重点的にテーマを設けたものに対して予算をどうやって使っていくかということ、指標の判定等も含めてやっていきたいと思いますのでご了承いただければと思います。

ブランド調査結果につきましては、認知度や何を表わしているのかわかりづらい部分もあるかと思うので、検討していきたいと思います。

ブランド調査の関係ですが 141 ページに統計指標の一覧がございます。重点テーマについても、このように資料を付けて冒頭に掲げたいと思っております。その中でブランド調査に関しても具体的に書き込めるものがありましたら記載したいと思います。ちなみにブランド調査とは、1047 の市町村都道府県が回答する調査でございます。

(三浦会長)

先ほど財政に関する説明がございましたが、市長が昨日か一昨日にオリンピックレガシーの維持管理が大変だという発言をされて、それを撤回された経緯がありましたが、やはりオリンピック施設を長期的に見たときに、維持管理費というのは見通しの中に含まれているのでしょうか。

(望月課長)

今回は予算、決算をベースにどのようなトレンドで動いていくかということを見てお

りますので、当然決算や予算の中にもそのような施設の維持管理費は入っておりますので、その部分は見込んでいると考えていただければと思います。

(山口委員)

今の話しと関連して、市でも公共施設の削減や見直しをしていると思いますが、財政的には必要なことだとは思いますが、それと同時に削減や見直しに伴う市民サービスの低下があると思いますが、それについてはどのようにお考えですか。

(望月課長)

財政的な観点から申し上げます。予算編成方針という中でも掲げていますが、公共施設の再配置というのは大変重要な課題であると考えております。今後、人口や税収が減っていく中ではコスト削減に取り組みながらやってかないと、市民サービスは低下どころか継続していけないと職員には申しております。

(小川総務部長)

公共施設に関しては、マネジメントで今後 20 年間で 20 パーセントの面積を削減していくという目標を立てております。ただ実際の進め方に関しては、地域のための公共施設と長野市全体の施設がありますので、それぞれ進め方は違いますが、特に地域の施設については、現在、芋井地区をモデルケースとして行っておりますが、地元の皆さんが地元の施設をどうしようか、どういう施設がどこに必要かということについてのワークショップを始めていただいております。その芋井地区を参考に、他の地区についても順次進めていきたいと思っております。

(三浦会長)

ありがとうございました。

統計指標について私から意見ですが、教育分野の統計指標が細かすぎると思っています。152 ページに細かい数値がずらっと並んでいて、なかなかわかりづらいと思っておりますが、いかがでしょうか。

(熊谷教育次長)

全国の平均値と比べてどうかということですが、わかりやすい表記の仕方を考えていきたいと思っております。

(三浦会長)

ありがとうございました。それでは、ご意見等もないようですので重点テーマにつきましてはご了承いただいたということですのでよろしいでしょうか。異議なし、ということでは

次に進めたいと思います。

④アンケート指標の目標について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

それでは④アンケート指標の目標についてご説明いたします。

— 資料に基づき説明 —

私からの説明は以上です。

(三浦会長)

ありがとうございました。アンケート指標についてでしたが、いかがでしょうか。その時々、社会情勢や政治情勢によって感じ方が変わると思いますが、173ページでご説明いただいた「国際化の推進」については突然数値が上がっていますが、何か原因はあるのですか。

(事務局)

私たちが非常に気になったところです。調べた中でも原因が見当たらなかったのですが、今回モニター制度を取り入れまして、アンケートの中に回答理由も答えていただくようになっておりますので、経過が見えてくるのではないかと考えております。回答結果によって分析もしていきたいと思っております。

(三浦会長)

アンケート指標に関しては部会の中でもご議論いただいて、次回の審議会にご提出していただきたいと思っております。他にご意見がないようですので、次の議題に入ります。

それでは、議題(2)第五次総合計画 基本構想(案)について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

それでは、基本構想(案)についてご説明いたします。資料集の2ページをご覧ください。

— 資料に基づき説明 —

私からの説明は以上です。

(三浦会長)

ありがとうございました。基本計画の内容変更に伴って、基本構想も修正しなければならなくなったようですが、教育分野の担当をされました、堀江委員から補足説明がありましたらお願いします。

(堀江委員)

教育・文化部長の堀江でございます。今ご説明がありましたように、基本計画を検討している中で、基本構想の文章や表現を変更した方がいいのではないかとということになりました。皆さんに提出した後の変更ということで、大変恐縮ではありますが、基本構想の文章の変更をお願いするものでございます。

具体的には四点ございます。一点目は「進めるべき政策」の「図ります」という文末の表現ですが、「図ります」と言う表現は、取り組む姿勢としては消極的に感じられるということで、それぞれ「充実します」「取り組みます」「推進します」という表現に修正させていただきます。

二点目は「施策の展開」の文章と整合が図れないということで訂正をお願いするものです。具体的には20ページの政策2の二番目、21ページの政策3の二番目の文章でございますが、二つとも助詞の使い方を変えることによって整合性を図りました。

三点目は21ページの政策5の一番目ですが、「異文化理解を深め」というのは国際交流活動の推進の目的のための手段であるということで、削除いたしました。

四点目は政策5の二番目の、「多文化との共生を推進します」ですが、これにつきましては、総務省から出ております「多文化共生の推進に関する研究会報告書」において、地域における多文化共生の定義が記載されております。国や他の都市でも「多文化共生」という文言を使っているということから、「多文化共生を推進します」と修正させていただきます。

以上四点の修正のご了承をお願いします。

(三浦会長)

ありがとうございました。このような修正案で進めていくということでご了承いただけますでしょうか。異議なし、ということでご了承いただきました。

基本構想ですが、この他に何か変更点等が出てきた場合はどのようにしたらよろしいでしょうか。

(事務局)

他の分野でも同じように変更点等が出てきた場合にはご協議の上次回の審議会にお示しいただきたいと思っております。なお、次回の作業部会では各指標の設定をご協議いただく他に、事務局でも現在資料の読み合わせをしている中で修正の提案をさせていただきます。

ことがございますので、併せてまたご協議いただいて、こちらも次回の審議会にお示しいただき、答申案としてパブコメに出していきたいと思えます。

(三浦会長)

ありがとうございました。基本計画、基本構想についてまだ次回の審議会までは若干の変更は可能ということがございますので、各部会で更に議論をしていただきたいと思います。

それでは、第五次総合計画 基本構想(案)についてもご了承いただいたということで、次の議題に移ります。(3) その他につきまして事務局から説明をお願いします。

(事務局)

その他といたしまして、二点お願いいたします。始めに基本計画の様式の変更についてです。資料集の175ページ176ページをご覧ください。

— 資料に基づき説明 —

次にパブリックコメントの実施についてでございます。資料集の177ページをご覧ください。

— 資料に基づき説明 —

以上で説明を終わります。

(三浦会長)

ただ今のご説明とこの絵との関係ですが、テーブルは分野ごとのイメージですか。

(事務局)

ここにABC・・・と書いてありますが、分野のイメージにしております。各分野の看板を立てて、提案される方も「子育てについて意見したい」とか、「福祉について意見がある」など、それぞれあると思えますので、どこに行ったらいいのかわかりやすいようにして、部会ごとに審議会の委員や部会員の方々に受け答えをしていただくイメージでございます。

(三浦会長)

これは事前に計画を立ててもなかなか思うようにいかないかもしれません。当日、どのくらいの方がお見えになるか、事前の申込みがないから把握できないということです。

ね。

(事務局)

はい。基本的には飛び込みで来ていただいて時間の中で自由に出入りしていただくようになりますが、関連団体には声を掛けたいと思っております。

(三浦会長)

パブリックコメントと併せてご説明いただきました。何かご意見等ございますか。

(川北委員)

「ながの未来カフェ」の運営について意見があります。ここにいらっしゃる審議会の委員が聞き役になることが多くなると思いますが、意見を言いに来た方が審議会の委員のことを市役所の職員だと間違えないかということです。また、出入り自由ということなので、カフェ内のルールみたいなものをどうやってお伝えするか、そしてそのルールの下で建設的な意見の交換をする工夫が必要だと思いました。それに関連しまして、色んな市民の方がいらっしゃるでしょうし、物申したい方もいらっしゃると思うので、聞き役となる委員を守る仕組みも必要だと思います。

(事務局)

ありがとうございます。ルールについては設けようと考えておりますが、まだ詰め切れていないのでここには記載しておりません。今いただいたご意見も参考に、また後日ご案内いたしますのでよろしくお願い致します。委員の方を守るということについては、職員もテーブルに入る予定でおりますので、意見交換があまりヒートアップしないように間に入っていきたいと思います。

(白石委員)

「守る」ということに関して、このカフェに来る方はそうとうご意見を持っている方だと思います。聞き役に徹するのはいいのですが、ご意見をどのように反映させていくかということがはっきりしていないと、やられっぱなしになってしまうのではないかと心配しております。反映させる仕組みなど作っておかないとうまくいかないのでは、と思いました。

(三浦会長)

そうですね。各テーブルに司会役が必要だと思います。それを委員がやるか職員がやるかということも考えていく必要がありますね。

(事務局)

ありがとうございます。司会や反映の仕組み等の細かいルールについてもこれから詰めていきたいと思えます。

(本間委員)

先ほどのアンケートの関係ですが、今回はこのままでいいと思えますが、このアンケートのやり方を見ますと、市内の5,000人の不特定多数に対するアンケートですが、個人の意見というのはばらつきがあって、年度ごとによって変わってくると思えますが、そうすると年度ごとの実績は平均化してしまい、傾向がつかみにくいということがあるので、5,000人の不特定多数に加えて特定多数に対してもアンケートをしたらどうかと思えました。

具体的にはテーマに「交流人口」や「インバウンド」という言葉があるので、長野市出身の県外在住者に県人会や同窓会を通じてアンケートをやったらどうでしょうか。それによって今まで見えなかった意見や傾向が見えてくると思えます。従来のアンケートに、テーマを絞った対象者をプラスすることはできないか、検討していただきたいと思えます。

(事務局)

今回はモニター制度ということで、6年間同じ方に推移の理由を書いていただきながらアンケートをやっていただきます。今のご意見のように、アンケートの内容を特定させて聞くということもいいと思えますが、個別に対象を絞るとするのは難しいと思えます。ご意見として参考にさせていただきます。ありがとうございました。

(増田部長)

ご意見ありがとうございました。総合計画に関しては、ただ今事務局から申し上げたとおりですが、長野市に対する外側からの目を測りたいと思えていまして、現在行っているのは、長野市に縁のある著名な方々に集まっていただいて「ふるさとNAGANO応援団」として特定の少人数で開催しております。

今後はその数を増やして、シティプロモーションの一環としてモニター制度のようにやってみたいと考えております。総合計画の中でいただいた意見ではございますが、長野市の広報、情報発信の問題として研究していきたいと思えます。

(白石委員)

前回の審議会でも申しました、第四次総合計画の中の多核心連携の件ですが、私ども松代地区では「交通のまちづくり研究会」というものがありまして、その中で第四次総合計画の中に計画された、一定の都市機能を集積した篠ノ井や豊野や松代といった地区

が連携し、役割分担をしながら長野市全体を発展させていく、という考えは捨てきれないのではないかと話し合っておりまして、第五次総合計画の策定も目前ではありますが、可能であれば都市整備分野で多核心連携についてご検討をいただきたくお願いいたします。

(事務局)

今いただいたご意見については、都市整備分野の部会長と相談して検討したいと思っております。

(川北委員)

モニター制度や、ながの未来カフェの活動等、市民との対話を大切にしていると思いますが、この対話を長野市としてまたは総合計画の中でどのように位置付けているのでしょうか。重点テーマとして取り上げられなかった人や地域からすると不満が残るので、そういう人達にとっても対話を反映させることは大切だと思います。この資料集の中にも「市民と協働によるまちづくり」という記載がありますが、市民との対話というのはそこに含まれるということでしょうか。

(増田部長)

この資料集の中では31ページの政策1に「市民が主役のまちづくりの推進」を掲げております。「現況と課題」にも、「市民の意見を十分に活かしながら市政を推進する必要があります。」とあります。ただ今のご意見は、こういう広義的な言い方ではなく、今回の計画では特に市民との対話を重要視している、ということ述べた方がいいということだと思いますが、そのような記述はしていません。しかし、市民の皆さんに総合計画について説明する機会として、いくつか新しい取組を取り入れて、なるべく多くの皆さんにこの計画を知っていただきたい、あるいはご意見をいただきたいと思っておりますので、記載はありませんが取組を通じて対話を重要視しているということをご理解いただきたいと思っております。

(三浦会長)

ありがとうございました。他にご意見等ございますか。よろしければ今回の議事を終了いたします。

4 閉会

(事務局)

ありがとうございました。それでは事務局から次回の日程についてご説明いたします。
11月25日(金)午後2時から、第一庁舎7階の第一、第二委員会室で開催いたします。
パブリックコメントの素案に向けて、最後の審議会になります。

それでは、以上で審議会を閉会いたします。ありがとうございました。